１１月の流し原稿　　　　　２０１９年１１月２５日　　　府委員会選挙・宣伝部

※（　　）のみなさん、日本共産党です。

◎来日したローマ教皇は、「核兵器廃絶へ」、平和のメッセージを発信しました。

核兵器禁止条約の発効まで、あと１７カ国と迫りました。

被爆国日本政府にすみやかに条約にサインするよう求めましょう。

■安倍総理主催の「桜を見る会」と「前夜祭」をめぐる疑惑はますます広がるばかりです。共闘の力で真相を究明させようと、「追及本部」が発足しまた。安倍総理の「桜を見る会」私物化、税金を使った買収疑惑を徹底追及させましょう。国民の立場で真実を報道する日本共産党の「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひ、お読みください。

●日本共産党は「消費税５％への緊急減税の提案」で各界の皆さんと懇談しました

労働組合や中小企業団体をはじめ、野党国会議員、個人が参加しました。

みんなの力で消費税５％減税を実現しましょう。消費税減税の署名にご協力をお願い致します。

●消費税は社会保障のために使われず、医療や介護の負担は増え続けています。

日本共産党は大企業や富裕層に、儲けに応じて税金を払ってもらうことを求めています。

税金の集め方、使い方を見直して、消費税５％減税を実現させましょう。

■受験生や高校生、教育関係者らの強い批判のもと、英語民間試験導入の延期が決まりました。

大学入試を、営利を追求する企業や民間事業者にゆだねるのは、公正、公平制がそこなわれます。

日本共産党は、受験生を犠牲にする大学入学共通テストの完全中止を、もとめます。

●関電役員が多額の金品を受け取っていた関電マネー疑惑の解明はまったなしです。

外部の人をいれた第三者委員会をつくり、関電役員の国会参考人招致を求めましょう。

不正を許さず真実を追及する日本共産党の「しんぶん赤旗を」ぜひ、お読み下さい。

●安倍首相は、国民多数の声に耳を傾けず、憲法９条の改正に執念を燃やしています。

「政府の行為によって再び惨禍が起こることのないように」と世界に誓ったのが日本の憲法です。

安倍政権による９条の改憲許さない闘いをいっそう大きく広げましょう。

■日本共産党は、野党連合政権の実現にむけ各党に呼びかけ、話し合いを開始しています。

志位委員長は、「れいわ」の山本代表、社民党の又一党首と会談し、第一歩を踏み出しました。

市民と野党の共闘を発展させ、安倍政権の退場、新しい日本をご一緒につくりましょう。

●来年４月から導入予定の高等教育の修学支援制度と引き替えに、国立大の授業料減免制度が廃止されようとしています。日本共産党は、減免制度の拡充、授業料無償化は、所得に関係なく支援を行うよう求めています。

▼相次ぐ災害の要因と言われる地球環境問題はまったなしの課題となっています。

世界に逆らい、日本が進めている、石炭火力発電所の建設はやめさせましょう。

日本共産党は、地球温暖化問題に真正面から取り組むよう政府に求めました。

●カジノを誘致させないたたかいが、正念場をむかえています。国民が声を上げれば政治は変わります。

大阪にも、日本のどこにも、カジノはつくらせない運動を大きく広げましょう。

■台風被害など深刻な自然災害が相次いでいます。日本共産党は、リニアやカジノなど大規模開発より、災害から住民の命と暮らし優先の政治に切りかえる事を求めます。

●日本共産党は、日韓問題でも、話しあいでの外交的解決を求めています。

徴用工問題は、国家としては放棄しても、「個人の請求権そのものを消滅させたものではない」との国会答弁もあります。過去の侵略戦争への反省、被害者の名誉と尊厳の回復が求められています。